

# やなぎまちに いせき 柳町Ⅱ遺跡

- 遺跡番号: No.102
- 所在地: 広野町大字下浅見川字柳町
- 時代: 縄文時代(早期後葉~前期初頭)  
奈良時代 平安時代 中世
- 性格: 集落跡
- 遺構: 竪穴建物跡 掘立柱建物跡 土坑 溝跡  
焼土跡 落とし穴
- 遺物: 縄文土器 土師器 須恵器 石器



① 上空から見た柳町Ⅱ遺跡



② 発掘調査の様子



③ 遺跡全体の様子 白線部分が竪穴建物(住居)・落とし穴・掘立柱建物などの跡です。

東日本大震災後の復興にともなう発掘調査で、縄文時代早期後葉から前期初頭頃(今から約8千年前~7千年前)のムラのあとが見つかりました。

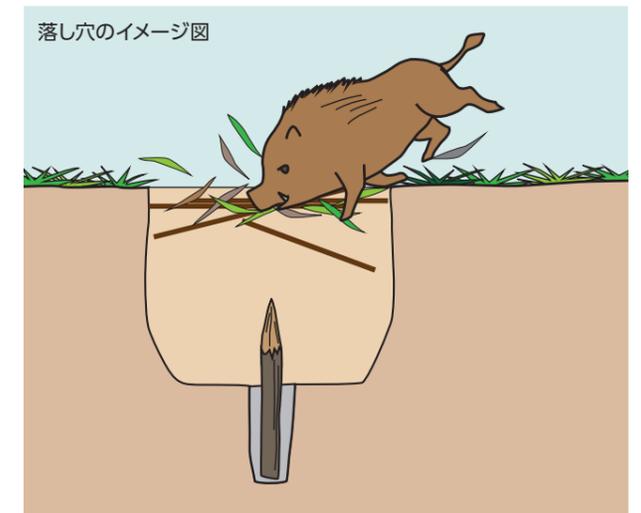
この時代は、動物や植物などの食料が豊富な山間部にムラを作ることが多く、海岸に近い場所でムラが見つかるのはとても珍しいことです。海の幸を求めて、キャンプ地のように利用していたのかもしれませんが。

住居は地面を掘りくぼめた竪穴式で、床には火を焚いた炉の跡がありました。住居の近くには、動物を捕えるための落とし穴が見つっています。石鏃も多く出土しているため、海の幸だけでなく、動物も捕らえながら生活をしていました。

その他に、古代から中世頃と考えられる掘立柱建物跡も見つっています。



④ 落とし穴  
深さ 1.1 m で、底面の真ん中には小さな穴がありました。落ちた動物にダメージを与えるため、尖った杭を立てていた跡と考えられます。



⑤ 柳町Ⅱ遺跡で見つかった土器と石器  
わかりやすいように大きさを変えています。  
【突き刺す】 【削る】 【土を掘る】  
【木を切る】 【切る】 【穴をあける】 【すりつぶす】  
【たたく・みがく】

## 縄文時代の環境

縄文時代より前の旧石器時代は、冷涼で寒い環境でしたが、縄文時代早期頃には温暖化が進み、前期の中頃(約6千5百年前~6千年前)に最も気温が上昇したと言われています。温暖化にともない海面も次第に上昇し、現在の海面より2~3m高かったと考えられ、内陸の低い土地まで海が入り込んでいました。このような現象を縄文海進と言います。

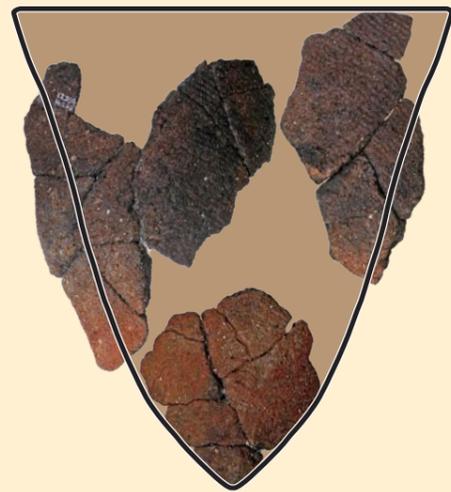
柳町Ⅱ遺跡にムラがあった頃は、徐々に温暖化が進み、海岸までの距離が今よりもっと近く、自然環境も大きく違っていたことでしょう。

その後、また気候や海面の変化を繰り返しながら現在の地形になっていきました。



⑥ 縄文時代前期頃の海岸線(推定)

## 縄文土器の形と文様



⑦ 柳町Ⅱ遺跡で出土した尖底土器

縄文時代は、今から1万数千年前から2千4百年前頃まで、1万年以上もの長い間続いています。

柳町Ⅱ遺跡で出土した土器は、縄文時代早期後葉から前期初頭頃(約8千年前～7千年前)にあたります。

この頃の土器は底が尖っているもの(尖底土器)が多く、土器を作るときに土に植物の繊維を混ぜ込んだものもあります。土器の表面には、様々な文様(模様)が付いています。

縄文土器の「縄文」とは、「縄の模様」のことです。土器の模様は「文様」と言い、縄の文様が付いた土器なので、「縄文土器」と呼ばれるようになります。

縄はカラムシなどの植物の繊維を撚って(ねじって)作ります。撚る方向、撚り合わせた本数や回数で、様々な文様になります。

縄文土器には、縄以外にも竹、木片、動物の角や骨、貝など、様々な素材を利用した文様があります。



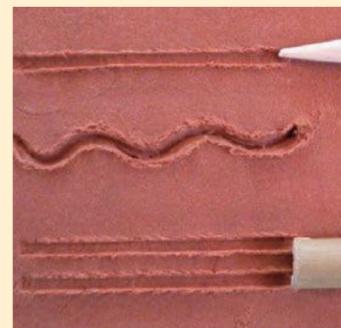
① 縄文(じょうもん)



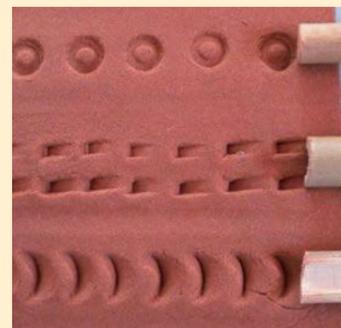
② 羽状縄文(うじょうじょうもん)



③ 撚糸文(よりいともん)



④ 沈線文(ちんせんもん)



⑤ 刺突文(しとつもん)



⑥ 条痕文(じょうこんもん)



⑦ 貝殻腹縁文(かいがらぶくえんもん)

⑧ 柳町Ⅱ遺跡で出土した様々な文様の復元  
素材は身近に手に入るものを使っています。

## う え だ ご う ろ く い せ き 上田郷Ⅵ遺跡

- 遺跡番号: No.68
- 所在地: 広野町大字上北迫字上田郷
- 時代: 縄文時代(早期～前期・晩期) 平安時代
- 性格: 集落跡 遺物包含層
- 遺構: 竪穴建物跡 掘立柱建物跡 土坑 溝跡 焼土遺構 遺物包含層 土器埋設遺構
- 遺物: 縄文土器 陶器 石器 土偶

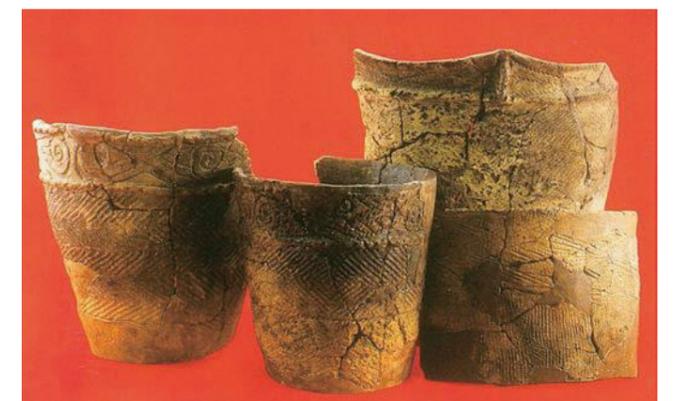


① 上空から見た上田郷Ⅵ遺跡

上北迫字上田郷地区は縄文時代の遺跡が多いことで知られていますが、常磐自動車道を建設する際に、縄文時代早期から前期のムラが見つかりました。

ムラでは台地上の平坦面に住み、周辺の斜面には土器や石器をたくさん捨てた跡(遺物包含層)がありました。遺物包含層から出土した土器は、縄文時代早期末葉から前期初頭にかけての土器の移り変わりがわかる貴重な資料となりました。

遺跡からは土偶も出土しています。



② 遺物包含層から出土した土器



③ 縄文時代前期の土偶(板状土偶)  
腕の部分が欠け、顔と胸の部分には沈線で文様が描かれています。



④ 縄文時代晩期の土偶  
人物の顔には髭か入れ墨が表現されています。

①～④の写真提供: 福島県文化財センター白河館